



令和 6年 9月 2日
目黒区立大岡山保育園園長

9月園だより

先日、地域の私立園園長と5歳児担任とで中根小学校の1年生担任の先生に就学後の子どもたちの様子を聞く機会を持ちました。小学校の先生より、保育園や幼稚園では文字が読めることや書けることよりも、意欲や関心を持って目の前のことに楽しく取り組み、新しいことにも躊躇しないでチャレンジする気持ちを持てる子どもに育ててほしいという声をいただきました。そのためには様々な経験をしていくことと、大人との愛着関係を作ることがベースにあり、自己肯定感や自己信頼感を育てていくことが大切となってきます。保育園では、小学校への円滑な接続を見据えて、各年齢の育ちのタイミングにあった環境を働きかけています。例えば、先日1歳児クラスでトウモロコシの皮むきをしました。子どもによって様々な姿がありますが、ためらいなく剥き始めた子は、一番下の硬いところを大人に手伝ってもらいながらも、自ら夢中になって剥き続けています。剥いていくと少しずつ中味のトウモロコシが見えてきて、子どもたちの表情が明るく輝き始めます。「あっコーン」と言葉が出てきた子もいました。また、トウモロコシを目の前にしてどうしたらいいかわからない子も、保育士が剥き始めの箇所と一緒に剥いてあげるとチャレンジし始めます。「何だろう」「どうなっているのかな」という興味関心は、身近なものに触れる経験をしていくことで広がり、感性の育ちや知的好奇心につながっていきます。就学前の5～6年間、子

どもたちの主体的な気付きが生まれる遊びを十分経験していけよう、心や体づくりのお手伝いをしていきたいと考えています。



9月の予定

引き取り訓練（避難訓練）
身体計測

10月の予定

運動会（2～5歳児）

※0、1歳児クラスは自由参加です。

身体計測、避難訓練

芋ほり遠足（4・5歳児）

焼き芋会（全園児）

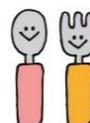
秋の定期健康診断（全園児）



美味しい給食を作ってくれる調理員より



毎朝調理室にぶどう組の子どもたちが「人数報告当番です」と元気よく来てくれます。その時に、その日に使う食材の名前当てクイズを出しています。人参、玉ねぎなどの時は「簡単だよ」と言ってすぐに分かりますが、つるむらさきやモロヘイヤなど馴染みの薄い食材の時は「うーん…」と悩みながら苦戦しています。クイズの時に「これ好き、これ嫌い」と色々な反応が返ってくるのも楽しみです。また、1歳児～5歳児クラスの子どもたちが玉ねぎやトウモロコシの皮むきをしてくれたり、園で育てた野菜を嬉しそうに持ってきてくれることもあります。自分たちが調理に携わったり育てたりした野菜なのでいつもより良く食べているようです。子どもたちの笑顔に元気をもらいながら毎日美味しい給食が作れるように頑張っています。



楽しかった 夏のあそび

0歳児クラス（いちご組）

初めて水遊びに取り組んだ日は、保育士が中心となりそっと水をかけたり静かにペットボトルシャワーから水を流したりし、子どもたちは不思議そうな表情で見つめながらゆったりと水に触れていました。そんな中、徐々に子どもたちが水の感触に慣れていき、今では子どもたちが主体となり水面をたたいて水しぶき立てたり、ペットボトルシャワーに手を伸ばして水に触ったりしてどんどん積極的になってきました。お気に入りのオモチャもでき、子どもたちそれぞれが小さなペットボトルやバケツ、プラスチックのコップ、マヨネーズの容器などをしっかりと手に持って遊んでいます。子どもたちが中心となってダイナミックに遊べるようになり成長したと感じています。楽しい夏の水遊びでした。



1歳児クラス（もも組）

子どもが片手で持てるサイズの丸い氷を使って感触遊びを楽しみました。氷を握っているとだんだんと解け始め、手から水がしたり落ちる様子を不思議そうに観察しています。慣れてくると、手に持った氷をそっと頬にあててみえています。冷たさに驚き慌てて顔から離しますが、少しするとまたやってみたくなり、もう一度頬にあてています。そのうち「ここはどうか」と、まるで研究しているかのように足や腕など体の色々なところにも触れさせて楽しんでいました。しばらくすると、今度はそばで見守っていた保育士の頬と足にも氷を当てています。保育士にも感触を伝えたいようで「冷たいでしょ」というように顔を見てにっこり笑っていました。

保育士や友達と簡単な言葉や表情、仕草などやりとりしながら感触の楽しさや不思議さを共有しています。夏にしかできない遊びを十分に楽しむことができました。



2歳児クラス（りんご組）

食紅を使って色水遊びをしました。赤色は「イチゴジュース！」黄色は「レモンジュース！」と言いながら透明のコップに入れて楽しんでいます。そのうち赤い色水に黄色い色水を注いでみると「あれ、色が変わったよ。なんでだろう」と色の变化に気が付く子がいました。「なんでだろうね」と保育士も一緒に考えていると「赤と黄色を混ぜたからじゃないかな」と教えてくれました。違う色を混ぜるとまた更に他の色の色水になる、という子どもたちにとっての大発見です。その後は何種類もの色水を作って並べ実験をしているように観察したり「いらっしやいませー！」とジュース屋さんになったりしながら楽しんでいました。夏の遊びを通して色々な発見や気づきがあったり、遊びの面白さに声をあげて笑い合ったりしてきました。今後もその季節ならではの遊びを取り入れながら楽しい経験ができるようにしていきたいと思えます。

